

# 飯盛物語 3



学校教育目標

「命をだいに 人をだいに 自然をだいに美しく」

～やる気(心) 思いやりの心 たくましい心の育成～

飯盛中テーマ「自立 創造 貢献」

R7年度の合言葉「日々安心！」

～生徒一人ひとりに居場所があり

日々安心して頑張れる教室に！～

第21話 令和8年1月28日発行

校長 池田 英二 養護教諭 小森 美保

## 人権作文コンテスト会長賞表彰式（1月16日金曜日）

「第44回全国中学校人権作文コンテスト長崎県大会」において、2年生の江頭 杏さんが入賞しました。飯盛中学生72名が応募して、諫早人権擁護協議会、長崎地方法務局（大村市、諫早市、雲仙市）の長崎法務局管内の中学校生徒の応募の中で審査され、長崎県大会の選考会において優秀賞を受賞しました。先日、校長室に、諫早人権擁護委員協議会長の片山 良子様と人権擁護委員の神尾 義人様が来校され、優秀賞の盾と受賞作文集が手渡されました。大変名誉なことです。江頭 杏さんの作文を紹介いたします。素晴らしい作文なのでご一読ください。



### 「世界の色」飯盛中学校 江頭 杏さん

「白人警察官が黒人男性を取り押さえ、首を9分以上にわたり膝で押さえつけ死亡させた。」このニュースは、肌の色が違うだけで疑われ、押さえつけられ「息ができない」と訴えていたが、白人警察官はこの人が悪いと肌の色だけで決めつけていた。私はこのニュースででていた映像が目はずっと焼き付いている。黒人男性は何も悪いことをしていないのに。ただ肌の色が違うだけで疑われて、命を奪われる。これをみた時、改めて「人種差別」って本当に理不尽で、怖くて命までも奪ってしまうものなんだと知った。こうゆう大きな事件だけじゃない。電車で隣に座るのを嫌がったり、外国の名前をからかったり、そういう一つひとつの「見えない差別」が、誰かを傷つけている。

人種差別は知らないことから生まれるんだと思う。「見た目怖いから」とか、偏見まみれで決めつけていることが多い。「知らないから怖い」じゃなくて、「知らないからこそ知ろう。」そう思える自分でありたい。少しでも知ろうとする、そういう小さなことが大きな壁を崩していく力になるんだと思う。

人種差別は何かを「する」ことだけでなく、「しない」ことでも成り立ってしまう。黙っている、何かされていても見ないふりをする、それもまた差別を支えてしまう行動だ。「みんなちがってみんないい。」ちがうからこそ学びがある。日本人は外国のちがう文化にふれたとき、自分の当たり前が全てじゃないことに気づく。人種差別をなくすためにいちばん大切なことは「知ること」だと思う。知らないままだと、人は偏見をもちやすくなる。でも知ろうとすることで相手の立場になって考えることができる。その人がどんな気持ちで毎日生きているのか、何に悩んで、何に笑っているのか、そこまで見て考えようとするだけで心の壁は少しずつ溶けていくと思う。

ドキュメンタリーで、アフリカ系アメリカ人がこう言っているのを聞いた。「僕は毎朝、今日は死なないで帰れるかなあって思いながら学校に行っている」その言葉を聞いたとき、ぎゅっと胸が締めつけられた。私はふつうに歩いて、ふつうに笑って、ふつうに帰ってくる。でも彼らにとっては、そのふつうが生きるか死ぬかの問題になる。私たちが思っているふつうは当たり前じゃない。人種差別は「違いがあること」が問題なんじゃない、「違いをおそれる心」が問題なんだと思う。だから必要なのは「同じになること」じゃない。白くなることも、黒くなることも、誰かに合わせることもない。大切なのは、違ったところも理解し、違ったまま敬いあうことだと思う。

私たちは世界中の人とつながっていく未来を生きていく。その時代を生きる一人として「同じであること」よりも「ちがいを認め合えること」を大切にしたい。肌の色がちがっても、名前がちがっても、笑い方がちがっても、そこにあるのは、同じ命であり、同じ心なんだ。世界が同じ色になる日なんていらない。そんな世界はきっとつまらないし、誰かを塗りつぶしてできあがった「偽物の平和」だと思う。私が願うのは、世界中の色がそのままの姿で輝ける未来。そのために私は今、この手と心で、差別という壁を一つずつ崩していきたいと思う。



## 池田 尚コーチによる全校道徳の授業【1月21日（水）】

こどもの城の前館長である池田 尚様：通称コーチ（人材育成コーチ：諫早市地域子育てコーディネーター）を講師に招いて、5～6校時に、全校生徒を対象に、体育館で道徳の授業【内容項目「他者理解」B－（9）相互理解・寛容】の授業を行いました。

授業のテーマは、【おなじ と ちがい】というテーマで、わかりやすい説話や昔の文部省（今の文科省）の調査を通して、クリティカルシンキング（批判的思考）について考え学ぶ授業でした。

クリティカルシンキングとは、物事の前提や根拠をうのみにせず、「本当にこれで正しいのか？」と客観的・多角的に問い直し、論理的に分析・評価をして本質を見ぬく思考法です。人のうわさ話をすぐに信じるのではなく、自分の中で「それは本当なのか？」確かめてみることの大切さを教えていただきました。今の世の中には、色々な情報があふれています。明らかなうそを本当のように伝える情報があふれています。何が真実なのかをよく考えてだまされないようにしてほしいです。飯盛中学校の生徒がこれからの長い人生を歩んでいく中で、とても大切なことについて考え学ぶ授業になりました。池田 尚先生、大変ありがとうございました。



## 性教育講話：2年生対象【1月22日（木）】

たらみエンゼルレディースクリニック院長の陣林伯豪先生を講師にお招きし、2年生を対象に、思春期の身体と心の変化や妊娠、避妊、性感染症、子宮頸がん、性の多様性などについて話をいただきました。

日本では、避妊をしていないこと等によりアメリカやフランスに比べて意図しない出産の割合が非常に大きく、10代の妊娠や出産が他人事ではないこと、そうなった時に自分や相手の心や体、生活がどのように変化するかということをお話されました。性感染症や子宮がん予防についても予防方法があることを教えていただきました。今まさに思春期真っただ中の生徒たちにとっては、ちょっと恥ずかしいと感じてしまう内容もあったかもしれませんが、将来の自分のことを考えながら自分のこととして真剣に話を聞いていました。生徒たちは、性について「自分が知りたい情報」をSNSや友人から得ることはできますが、それが正しいかどうか判断できません、今回は「知っておかなければならない」情報・知識について、現状を知る陣林先生から学ぶことができとても貴重な時間となりました。今回、講話を聞いて得た知識や感じたことを忘れずに、将来の自分やパートナーの命や健康を考え行動することができる大人になってほしいと思います。今回の授業についてご家庭でも話を聞いていただき、命や性について話すきっかけにさせていただけると幸いです。



### 【1月下旬～3月のおもな行事予定】※諸事情により日程が変更になることもあります！

- 1月27日（火）公立高校特別選抜 30日（金）新入生入学説明会 公立高校特別選抜合格発表  
2月 4日（水）～2月16日（月）教育相談 17日（火）～18日（水）公立高校一般選抜  
19日（木）～20日（金）全校学年末テスト 24日（火）いいもり先輩塾  
25日（水）薬物乱用防止教室（3年生） ・第3回学校支援会議  
27日（金）1・2年生授業参観・学年・学級PTA  
3月 3日（火）避難訓練 5日（木）公立高校一般選抜合格発表 10日（火）飯盛中学校卒業証書授与式  
12日（木）公立高校チャレンジ選抜 17日（火）小学校卒業式 24日（火）修了式・離任式

